グループ

令和6年度の検討スケジュール(予定) 令和6年度 検討体制 1月頃 第5回 上野地区まちづくり ビジョン推進会議 報告 まちづくり(開発)誘導方策検討※(1) 検討結果を反映 8月頃 12月頃 交诵機能検討 → 交诵機能再編検討(駐車場集約) (駅および駅前広場) 基盤整備 第6回 第7回 推進部会 ICTを活用した交通環境及び ウォーカブル戦略素案作成 → ウォーカブル戦略検討 歩行者回遊状況調査 **%**(2) 【アートクロス】整備工事実施 上野公園北部エリアビジョン作成※(3)【区道62号線】修景イメージ検討(基本設計)実施 個別検討 PT 【パンダ橋】利活用実証実験 随時開催 → 利活用ルールの作成 パブリックスペース等利活用推進検討 ※4 空間利活用·二次交通導入 【中央通り・袴腰広場】 その他 【不忍通り】ほこみち指定に向けた道路空間利活用実証実験および関係機関協議 継続実施 6月頃 10月頃 まちづくり 空間ビジョン素案作成 → 第7回 空間ビジョン+杜まち連携検討 第8回 空間ビジョン+共通基準+杜まち連携検討 推進部会 相互連携 ワーキング グループ名「UENO Bridge」による近未来のワクワクする上野の姿をイメージしたアクションプランの実施

# 今後の進め方について

## ■来年度実施予定の区による主な企画検討内容

## ①まちづくり(開発)誘導方策検討

上野地区の将来像実現に向けて、上野駅周辺の文化・観光等の都市機能の集積を高めることで、まちのポテンシャルを向上させ、地区の特性を活かした魅力あるにぎわいの拠点形成するため、まずは上野地区の景観形成の方向性を示すガイドラインを策定

また上野らしい機能誘導を図るために必要となる制度設計を併せて検討

## ②ICTを活用した交通環境及び歩行者回遊状況調査

上野地区全域における交通環境及び歩行者の回遊状況を、ビッグデータ(GPSデータ、Wi-Fi等)やカメラ映像(AI解析等)などを用いて調査・分析を実施

調査結果より、対象区域を特徴づける来訪者の傾向分析を実施するとともに、地域資源及び「上野版ターゲット 10+」の立地分析や案内誘導サインとの関連等についても分析

### ③上野公園北部エリアビジョン作成

上野公園北部エリアの特性を整理し、当エリアの目指すべき将来像や環境整備の方向性をエリアビジョンとして コンセプトブックにまとめるとともに、歩行者回遊性向上に資する歩行者空間のあり方及び特別区道台第62号 線の歩車道等の修景デザインの方向性を検討

### ④パブリックスペース等利活用推進検討

杜とまちの回遊を生みだす「上野版ターゲット10+」のうち、いずれかにおいて公民が連携しながら社会実験を実施し、まちづくりのプレイヤー発掘・育成及び持続的なまちづくりが推進されるための仕組みづくりを実施 主に、上野まちづくり協議会が企画検討する「上野広小路ヒロバ化実験」の継続的な取組みを支援